

# イネいもち病に対するファーストオリゼプリンス 粒剤10のは種時覆土前処理の防除効果

- ・ 播種時に処理、田植えに専念、省力的
- ・ 機械処理、均一散布、効果安定
- ・ 高い葉いもち防除効果、山間常発地でも安心
- ・ 抵抗性誘導剤、耐性菌が発生しにくい

は種時覆土前に  
薬剤・50g/箱を  
散布するだけ！

## いもち病

最も恐ろしい病気

(減収・品質低下)

コシヒカリ

ひとめぼれ

弱い



葉いもち病斑

は種時  
覆土前処理

新薬剤

ファーストオリゼ  
プリンス箱粒剤10

は種

田植

平地

山間～中間地

安定した高い効果  
長い効き目

既存薬剤

Dr.オリゼプリンス  
粒剤10H

嵐プリンス箱粒剤10  
嵐スタークル箱粒剤

平地

山間～中間地

効果ふれる  
場合あり

効果不十分

平地

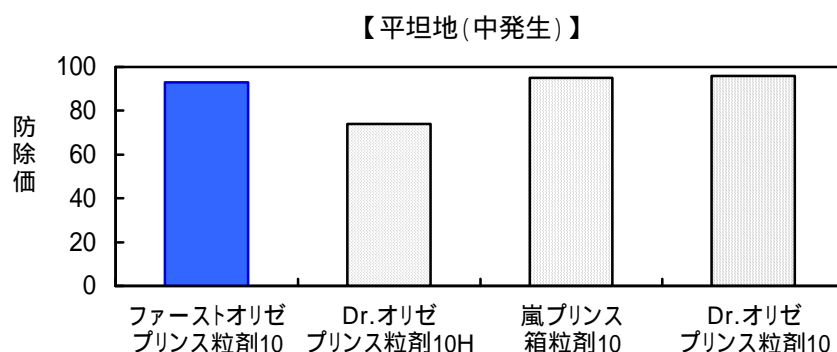
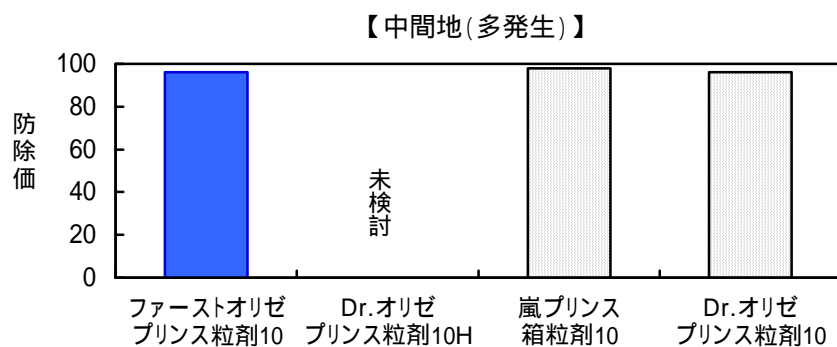
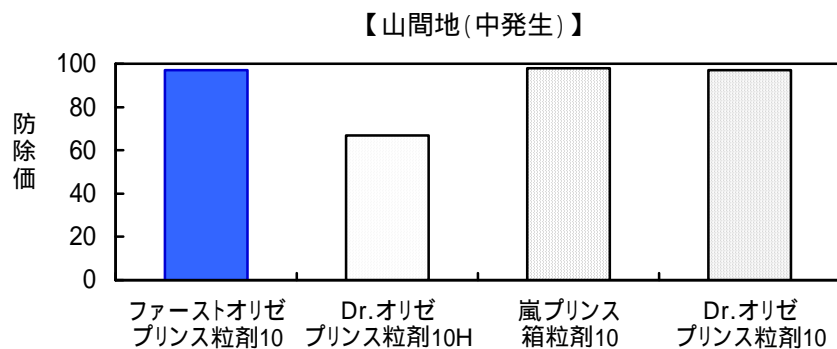
山間～中間地

効果ふれる  
場合あり

穂ばらみ期防除

出穂期

穂揃い期防除



プロベナゾール20%粒剤(ファーストオリゼプリンス粒剤10)のは種時覆土前処理の  
葉いもち防除効果(2009年)

1. ファーストオリゼプリンス粒剤10は、は種時覆土前の専用製剤であり、2010年3月1日現在の農薬登録における使用時期も、は種時覆土前のみである。
2. 上記新薬剤は、既存剤と同様に機械処理が可能である。また、育苗期における微生物農薬との同時処理は可能であるが、育苗箱全量施肥専用肥料との同時施用による影響については未確認である。
3. 上記新薬剤は抵抗性誘導型の薬剤であり、稲穂では顕著な抵抗性誘導が得られないため、Dr.オリゼプリンス粒剤10(移植当日)等と同様に、直接の穂いもち防除効果は期待できない。したがって、穂いもち防除については、現行と同様の予防防除を行う必要がある。